

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 15日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋を決めている ・作業室を臨時的児童発達利用児の活動の場としている。 ・定期的利用日にスペースとして対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切ではあるが、療育部屋の座る場所が時間的に重なることがあるので、時間の調整が必要なのである。 ・現状の人数の受け入れであれば、問題ないが、人数等に変化が出れば見直しや改善は必要である。
	2 職員の配置数は適切である	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1で支援し、外出時は職員2人に対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の人数は適切であるが、今後ヒヤリハットなどを踏まえ、場所で見守るなど必要である。 ・トイレ便座については、体格にもよるが少し高いように感じるので踏み台等の利用を検討。食堂については、椅子がパイプ椅子の為、不安定な事と、指はさみ等を考え、備品購入の検討が必要である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・わかり易く、日々、整理整頓されていると思う。 ・利用日にマグネット式のスケジュールを壁に貼りつけて視覚的援助をしている。 ・名前を「どんぐり」として、一日のスケジュールを壁に貼り本人へ視覚的支援を行っている。 ・バリアフリー環境も整えている。 ・視覚的支援を多く取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援に適切な設備(机・椅子等)を準備することが必要である。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日毎の掃除を定期的に行っている。 ・ジョイントマットを敷き、テーブルの上で療育を行っている。 ・年齢に応じた環境を整えている。 ・児童帰苑後、毎日の清掃、消毒を行っている。毎月(消毒含む)日ごろでは手が回らない細かい場所の清掃を行っている。 	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・処遇会議を定期的に関き、職員間での改善策を行っている。 ・毎月、処遇会議を行い、よりよい支援に繋がる努力をしている。 ・全員が関わりが持てるようローテーションが組まれていること、朝礼等の情報共有の場を活用するようにしている。 	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている ・評価表に追加、長期休み前など定期的アンケートをとって保護者の意向の把握を行っている。 ・保護者からの訴えがあった項目について検討し、広報誌などを活用し、改善や周知をしている。 ・連絡帳に保護者からの記入欄を設ける事で、情報交換がより密にできるようになっている。 	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「てとて」等 ・ホームページで公開している。年4回の広報誌で事業所での取り組み等公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、児童発達支援を取り組み始めた為、公開まで至っていない。 ・公開しているが、外部委託などでホームページを改善した方がより、保護者に伝わるのではないか。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ・外部はコロナの影響で難しいが、内部研修を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価まで至っていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・会議等を利用し職員間で話し合いを行っている。 ・今年はコロナ感染防止のため、研修の回数が少なかったが内部での研修を行った。 ・今年度は、コロナのため中止もあったが、毎年6回の研修の機会を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援は最近取り組み始めた事なので、研修の機会を確保する必要がある。 ・研修などはされているが、児童発達についての内容としてももう少し深い内容の検討が必要。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成時に保護者に聞き取りを行っている。 ・保護者と連携を取り、計画書を作成している。 ・年2回は、保護者との見直しの場を作り、保護者のニーズ、子供の課題の見直しを行っている。 ・コロナ禍の中、直接の聞き取りが難しいので、電話等で対応し作成している。 ・初回聞き取りによるプランが作成されており、担当者も保護者と来苑時等にこまめなやり取りがされている。 	
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎情報ツールに障害特性について記入欄があり、聞き取り時に活用している。 		

適切な支援の提供

12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員と密にして、情報収集を行い、これを基本に計画を立てている。 ・支援員の計画書を踏まえた上で支援内容を設定している。 ・相談支援員とも情報交換が多くできており、当事業所以外での目線や支援方法を参考にしながら支援内容を設定している。 	
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランを立案する上で、家人や支援員と意見交換を行い、計画を立て支援している。 ・年齢や個人の体力にあった支援内容を検討し支援している。 ・計画内容を支援前に確認し、実施するようにしている。 	
14	活動プログラムの立案をチームで行っている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当ごとに行っている。 ・問題がある利用者について全職員に伝達し、立案を行っている。 ・担当を複数人おこなっているいろいろな意見を取り入れながら立案、実施している。 ・常勤だけでなく、非常勤職員も参加し意見を出し合い検討・立案している。 	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動が固定化しないようプログラムを考えている。 ・レクリエーションや季節の行事を取り入れ工夫している。 ・障害の特性を見極め、固定するもの、変化するものとバランスをとる工夫をしている。 ・日々、外へ出たり、室内遊びの内容を変更し取り組んでいる。 	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の状況と保護者の意向を聞き、それに応じた個別活動の計画書を作成している。 ・年齢や障害特性を考えながら計画、立案している。 ・定期的に職員会議を開き各職員からの助言を受け入れ取り組んでいる。 ・時間や内容の見直しも随時されている。 	・個々にあった計画を作成しているが内容の向上を図る。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や指示表で確認し、支援している。 ・朝礼にてその日の流れの確認を行っている。 ・朝礼、昼礼等で情報の共有を図っている。 ・職員間のコミュニケーションを活発に行い、会議や朝礼以外の場でも話あえる環境になるよう努力している。 	
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼等を利用し行っている。 ・連絡、打合せはできている。 ・長期休暇時には終礼を行い、他日には問題が発生した利用者についてはその日の職員間で情報を渡し、次の日、朝礼で伝達している。 ・(長期休み)終礼・もしくは翌日の朝礼で情報共有を図っている。 ・職員間のコミュニケーションを活発に行い、会議や朝礼以外の場でも話あえる環境になるよう努力している。 	・一部職員間になっていることがある。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の事はケースに記録し、支援の改善に繋げている。 ・ケース記録や連絡帳に記入している。 ・毎日、個人用のケース記録に当日担当の職員が記録している。 ・アセスメントの際、事前に記録を確認し、より良い支援になるよう工夫している。 	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとに行っているが、必要に応じて何かあればその都度保護者に情報を聞いている。 ・自発の人数が今まで少ないためプランの見直し等はできていない ・気になることなどは相談支援員を通して計画している。 ・支援期間途中でも支援内容を変更した場合には聞き取りを行い、作成の見直しを行っている。 ・年2回(必要時はその都度)保護者とのモニタリングを行い、職員間で共有を図っている。 ・送迎等の機会を利用して、保護者から情報を仕入れ、必要なら見直しを行っている。 ・定期的な見直しの他、必要に応じ、話し合われている。 	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン担当者が会議に出席している。 ・保育士が参加している。 	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員と連携している。 ・支援員と連携をとり、支援を行っている。 ・保育士他、社会福祉士、また、子育ての経験などがある職員が必ず携わっている。 	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員と連携している。 ・現在、利用の児発利用者は身体利用者ではないため、連携した機関はない。 ・保護者を通して連絡を取れるようになっている。 ・産案については主治医からの指示書もらい介護者でも挿入できるようにしている。主は母親からの指示。なお、現在はない。 	・今後検討が必要である。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通して行っている。 ・保護者や相談員を通して連絡が取れるようになっている。 ・保護者を通して連絡体制を取っている。 	・今後検討が必要である。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	8	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員と連携している。 ・直接連絡は取れない場合は、保護者と連絡を取り合い、情報の共有を図っている。 ・情報の共有を行ってよいかケアプラン作成時には家人へ了解を取っている。 	・今後検討が必要である。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	7	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員、保護者を通して行っている。 	・情報の共有化を検討する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	8	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修へ参加 ・事業所内に研修案内がしてあり、参加の機会が取れるようにしてある。 ・研修は一部職員の参加を伝達で受けており、児発を持つ事業所との連絡、連携、助言を貰っている。 	・今後検討が必要である。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	11	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係でおこなっていない。 ・公園へ行く程度で、積極的な外部との関わりが不十分のため、検討が必要(コロナが落ち着いたら) 	・交流機会を検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	4	<ul style="list-style-type: none"> ・子供支援ネットへの参加している。 	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に行っている。 ・利用日の送迎時に日々の状況を保護者へ伝え情報をもらうようにしている。 ・送迎、連絡帳他、小さな事でも電話連絡等こまめなやりとりがある。 	・今後検討が必要である。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	9	<ul style="list-style-type: none"> ・問題や相談があった場合、職員サイドからの支援を行っている。 	・今後検討が必要である。	
保護者への説明	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明し、また、何かあれば随時対応している。 ・契約時、ケアプラン更新、見直し時など、その都度時間をかけ説明を行っている。 ・契約時他、不明点などないか確認するようになっている。 	・今後検討が必要である。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン作成後説明をし、署名ももらっている。 	・今後検討が必要である。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談等あれば職員間で話し合い検討対応している。 ・ケアプラン見直し時や都度悩みがあれば職員に言っていたくよう助言している。 ・職員間で相談し対応している。 ・送迎、連絡帳他、こちらからも電話連絡を入れ、必要時は相談支援員へも伝えられている。 	・今後検討が必要である。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	5	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み事業所参観の保護者会を積極的に開催、保護者同士の連絡を支援する。 ・コロナの影響で事業所参観他、見学会、茶話会等できなかったため、人数等を決める方法を考える事が必要。(アンケート内容、配布等) 	

明 責 任 等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から何かあれば職員間で話し合い検討対応している。 ・ケアプラン見直し時や都度悩みがあれば職員に言っていただくよう助言している。 ・相談窓口他、日々のやり取りを軽視せず、申し送りや引き継ぎ、また、相談支援員へも情報を伝え対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討が必要である。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳を利用して行っている。 ・年4回「てとて」を発行している。 ・保護者にわかり易く伝わるよう広報誌を工夫している。メール配信も活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討が必要である。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に注意している。 ・職員に個人情報保護に関する誓約書を提出してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討が必要である。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子供へは視覚的支援を利用。送迎時等で情報伝達を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討が必要である。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナにてできなかったが、本館の夏祭りなどで地域住民をよび、障害施設職員も参加している。 ・法人全体で行事に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討が必要である。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染予防は書面にて保護者に配布できている。 ・年に何度かお知らせを保護者に発行している。職員間でも話し合っている。 ・ホームページが本年度できあがり、ページ上で報告が行えるようにしている。 ・一部事業所内に張り出すなどしてすぐに対応できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に非常ベルを使用し、実際に建物から出て避難する訓練等を検討する。 ・避難訓練時のルートを写真にして、視覚的に分かりやすいものを作成していく必要がある。 ・定期的な避難訓練の実施。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	3	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等に行ったり避難する訓練はできている。 ・恩田公園には散歩を重ねて行く。自動車での移動のみ。 ・職員で話し合い、避難訓練を子どもと実施している。 ・定期的ではないが実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がいる場合の避難は、計画はあったが定期的にはできていない。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通して行っている。 ・ケアプラン聞き取り時に情報収集を行っている。現在なし。 ・プラン更新のたびに看護師の同席を行い、発作・服薬等の詳細を確認している。 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーアンケートを実施。食物アレルギーがあった場合は、保護者より指示書をもらうようにしている。 ・プラン更新のたびに看護師の同席を行い、発作・服薬等の詳細を確認している。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリがあった場合はすぐに共有している。 ・その都度ある場合のみ出している。 ・職員へ伝達し、対応方法の伝達・報告を行っている。 ・ヒヤリハット事例がある時には職員間で臨時会議を開き、共有・検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や処遇会議等で情報共有し、支援について協議し、取り組んでいる。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修、外部研修への参加 ・研修に参加している。 ・外部から講師を呼び研修を行ってきた。しかし、コロナにて本年度は中止となった。少人数で行うなどの結果となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容に取り入れていれ、支援に繋げている。 ・支援者としての基本的な研修の検討、実施。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に事前に承諾書を取っている。(やむを得ない場合のみ実施) ・職員間で検討し必要時には身体拘束について記載された内容の書類を保護者へ説明・押印をもらい支援につなげている。 ・保護者への丁寧な説明を行い、了解を得た上、行動制限に関する書類を作成し、署名・捺印したものを保管している。 		
